技を磨き、心を鍛える



撮影：猿田光彦さん（市民フォトグラファー）

▲受け身をとる様子

9月5日（土）、市民体育館で「市民合気道大会」を開催しました。

参加者は日頃の稽古で培った技を披露したほか、相手を尊重しながら技を掛け合うなど合気道を通じて交流を深めました。



学んだ手話でカウントダウン



撮影：賀城梢さん（市民フォトグラファー）

▲「青」の手話を学ぶ様子

9月23日は、手話施策推進法で定められた「手話の日」であり、国連で採択された「手話言語の国際デー」でもあります。

当日は、旧村山快哉堂を青色にライトアップするとともに「子ども手話教室」を開催しました。あいさつなどの簡単な手話を学び、国際ろう者週間期間中ライトアップするための点灯式では、学んだ手話でカウントダウンを行いました。

まちのできごと

おうち珈琲を楽しく、おいしく



撮影：西山久幸さん（市民フォトグラファー）

▲よりおいしくなる珈琲の淹れ方に興味津々の参加者たち

9月29日（火）、ふれあい館「もくせい」で食と健康のスマート・マスター講座を開催しました。

この講座は「食」と「健康」の垣根を超えた幅広い知識を身に付け、人や地域とつながり、地域の健康づくりを支える人材を育成することを目的としています。

今回は「珈琲を飲みながらひと時を過ごしませんか」をテーマにしょく場づくりサポーターの太田光夫（おおたみつお）さんを講師に迎え、おいしい珈琲の淹（い）れ方を学びました。

その電話、ちょっと待って！



撮影：猿田光彦さん（市民フォトグラファー）

▲振り込め詐欺の最新の手口を学びます

10月7日（水）、いろは遊学館で消費生活講座「防犯教室」を開催しました。

近年、増加傾向にある高齢者を狙った振り込め詐欺などの特殊詐欺被害を未然に防ぐため、埼玉県警察防犯指導班「ひまわり」の皆さんを講師に迎え、身近な犯罪の手口や被害に遭わないためのポイントを寸劇を交えた講話で学びました。

小筆に親しむ学びの時間



撮影：赤羽創さん（市民フォトグラファー）

▲筆先まで集中して取り組みます

10月8日（木）、福祉センターで「小筆の講座」が開催されました。

墨彩書道家の関根千詠（せきねせんえい）さんを講師に迎え、小筆の使い方を学んだ後、お手本をもとにとめ・はね・はらいの練習を重ね、書のアート作品を仕上げました。

消防士の仕事に挑戦



撮影：賀城梢さん（市民フォトグラファー）

▲ロープブリッジ渡過を体験

10月10日（土）、志木消防署で「消防体験学習」が開催されました。

火災の恐ろしさや生命の尊さを直接指導することで防火防災意識の向上を図ることを目的に開催され、参加した子どもたちは現役消防士から地震や救急など命に関わる事柄の対処法を学んだほか、救助や放水などの貴重な体験をしました。

市公式Facebookでも、イベントで撮影した写真を掲載しています！
https://www.facebook.com/shikicity

体験イベント盛りだくさん



撮影：藤代眞義さん（市民フォトグラファー）

▲10日に行われたパトカー・白バイ乗車体験の様子

10月10日（土）から12日（月）までの3日間、マルイファミリー志木周辺で「しきまるフェス 秋のペデストリアン共和国」が開催されました。

パトカー・白バイ乗車体験やノルディックウォーク体験会、移動式プレーパークなどが行われ、子どもから大人まで楽しめるイベントとして会場はおおいににぎわいました。

チョークアート「HALLOWEEN NIGHT」



▲ハロウィンをテーマに秋らしい色合いで仕上げました

志木駅東口駅前チョークアートギャラリーでは、宗岡第二中学校美術部が作成したチョークアート「HALLOWEEN NIGHT」を1月下旬まで展示しています。

大きなかぼちゃや月にぼかしを入れるなど、色の濃淡やグラデーションにこだわって制作しました。